

主要産地における平成27年産水稻の生育状況等について 第5報 (6月26日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成27年6月26日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する進捗等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育は平年並。草丈はやや短く、葉数は平年並、葉数は少ない。 (北海道農政課 6月15日現在)</p> <p>(空知) 日照時間が少なかったため、分けつは遅慢となった(早1日)。分けつ始期は6月6日。草丈は28.1cmで平年並、葉数は6.8枚で平年並、葉数は179.5本で少ない。(空知総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(石狩) 低温寒害により、生育はやや遅慢となった(早2日)。草丈は22.4cmで平年並、葉数は5.5枚でやや多く、葉数は134本で多い。(石狩総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(後志) 草丈は23.8cmで平年並、葉数は5.6枚で平年並、葉数は154本で多く、生育は2日早い。 (後志総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。草丈は21.2cmでやや短く、葉数は5.7枚で平年並、葉数は121.5本で平年並。 (胆振総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(日高) 生育は平年並みに推移している(早1日)。草丈は25.1cmでやや短く、葉数は6.2枚で平年並、葉数は146本で平年並。 (日高総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(渡島) 生育は平年より早く推移(早5日)。分けつ始期は6月6日。草丈は28.3cmで長く、葉数は6.3枚で多く、葉数は232本で多い。(渡島総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(釧路) 生育は平年並(早1)。草丈は23.7cmでやや短く、葉数は6.4枚で平年並、葉数は191.5本で多い。 (釧路総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(上川) 生育は平年並(早2)。草丈は27.2cmで短く、葉数は7.1枚でやや少なく、葉数は239本で少ない。 (上川総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(留萌) 6月の低温・日照不足により生育が停滞し、ほぼ平年並みとなった。分けつ始期は6月4日。草丈は31.6cmで平年並、葉数は7.0枚で平年並、葉数は196本でやや少ない。(留萌振興局 6月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年並 分けつ始期は6/9(早1日)。草丈は26.0cmでやや短く、葉数は5.7枚で平年並、葉数は114.0本でやや少ない。(オホーツク総合振興局 6月15日現在)</p> <p>道南農業試験場圃場での、きらら397、ふっくりんこ、ななつぼしの生育は「やや良」(5月20日現在) (道南農業試験場)</p>	<p>6月のヒメトビウンカの発生量は多く、イネドロオウムシの発生期は平年並で発生量はやや少く、フタオビコヤガの発生期はやや早く、発生量はやや少いと予報。 (北海道病害虫防除所 5月28日公表)</p>
青森	(生育)	<p>6月19日現在の生育は、草丈は平年並から上回り、葉数・葉数は上回った。つがるロマン(全県8地点)は、草丈36.6cm(平年比101%)、株当たり葉数14.9本(平年比122%)、葉数8.3枚(平年差+0.5)、まっしぐら(全県13地点)は、草丈42.2cm(平年比101%)、株当たり葉数15.3本(平年比138%)、葉数7.7枚(平年差+0.4)。 (青森県 6月24日付)</p> <p>生育状況(6月20日現在) (黒石) 6月10日から6月18日までの平均気温は、平年に比べ1.5℃高く、日照時間は平年比133%と多かった。「つがるロマン」は、草丈が34.8cmで平年より2.2cm長く、株当たり葉数は19.8本で平年より2.2本多く、葉数は7.9葉で平年より0.2葉多かった。「青天の霹靂」は、「つがるロマン」と比べ、草丈が5.3cm長く、葉数は1.8本少なく、葉数は0.6葉少なかった。 (十和田) 6月10日から6月18日までの平均気温は、平年に比べ1.5℃高く、日照時間は平年比111%と多かった。「まっしぐら」は、草丈は42.2cmで平年より2.2cm長く、株当たりの葉数は11.9本で平年より3.3本少なく、葉数は8.1葉で平年より0.7葉多かった。 (青森県産産技術センター農林総合研究所 6月20日現在)</p>	<p>6月のイネミズゾウムシは、県内全域で発生時期は早く発生量はやや少ない、イネドロオウムシは、県内全域で発生時期は早く発生量は平年並みの予報。 (青森県病害虫防除所 5月29日公表)</p> <p>北東北ではいもち病の発生がやや多いと予想 (農林水産省 6月23日付)</p>
岩手	(生育)	<p>県全体では、草丈29.7cmで平年より0.4cm短く、葉数は291本/m²で平年より多い(平年比120%)。葉数は7.3葉で平年を0.3葉上回っているなど、水稻生育は平年より2日程度進んでいる。(中央農業改良普及センター県域普及グループ 6月15日調査)</p> <p>生育概況(6月15日現在) 農業研究センター(北上)は、「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」とも、生育初期時点で、風による下位葉の葉枯れや表層剥離の影響で、生育の停滞がみられたが、好天により生育が進み、草丈、葉数、葉数ともに概ね平年並みとなっている。県北農業研究所(軽米)は、「いわてっこ」については、6月5日時点で平年を上回ったが、6月5日以降は生育が停滞し、草丈、葉数、葉数とも平年並みとなっている。 (岩手県農業研究センター 6月17日付)</p>	<p>6月のいもち病の発生はやや多く、イネミズゾウムシの本田侵入盛期は早く発生量は少く、イネドロオウムシの産卵盛期は早く発生量は少く予報。アカスジカスミカメのふ化盛期がかなり早まっている。 (岩手県病害虫防除所 5月29日公表)</p> <p>北東北ではいもち病の発生がやや多いと予想 (農林水産省 6月23日公表)</p>
宮城	(生育)	<p>6月19日現在、気温が平年より高く推移していることから、水稻の生育は概ね順調であり、葉数(平年差+0.3枚)から見ると平年に比べて2~3日程度進んでいると思われる。草丈は36.1cm(平年比98%)、1m当たり葉数は416本(平年比110%)であった。 (宮城県 6月22日付)</p> <p>(大原) 6月19日の管内の生育調査圃は、草丈は平年並みで、葉数は多め、葉色はやや低めとなっている。葉数がやや多く、生育はやや早めに経過している。(大原農業改良普及センター 6月19日付)</p> <p>(仙台) ガスの発生により、還元障害(根腐れ)が発生している現場が見られた。葉数が平年の同時期よりも5割程度多い傾向のため、中干しを平年より早めて実施するよう指導。(仙台農業改良普及センター 6月17日付)</p> <p>(大崎) 6月19日現在、草丈は平年並み程度で、葉数は平年を上回る現場が多く、葉数は平年を上回る結果となった。葉色・葉数は平年に比べ、ばらつきがあるものの、生育は順調。(大崎農業改良普及センター 6月19日付)</p> <p>(美里) 6月10日調査の移植栽培は、草丈、葉数、葉数、葉色ともに平年を上回っている。草丈は25~31cm(平年比104~109%)で平年に比べ長い傾向がみられた。葉数は195~308本/m²(平年比124~135%)で平年を上回った。葉数は7.1~7.4葉(平年差+0.4~+0.7枚)で平年より3~4日生育が進んでいる。直播栽培は苗立ち良好で、適正な目標本数を確保できた。 (美里農業改良普及センター 6月12日付)</p> <p>(栗原) 6月19日現在、生育調査ほ(ひとめぼれ)3現場の平均は、草丈は平年並(平年比99%)、葉数は平年並(平年比100%)、葉数は平年より多く(平年差+0.6枚)、葉色は平年よりやや濃い(平年比103%)。葉数は平年より多く、生育は平年より1日程度進んでいる。草丈・葉数は平年並、葉色はおおむね平年並だが、葉数及び葉色は現場による差が大きい状況。直播栽培の草丈・葉数、葉数は昨年を下回っている。(栗原農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(登米) 6月19日現在、生育調査ほ(移植3現場)の生育状況は、平年に比べ草丈は低め、葉数は少なめとなっている。葉数は平年より多く、葉色は平年より濃い傾向にある。葉数から見ると生育は平年より進んでいるが、移植栽培では稲体の生長が遅れ気味の傾向が認められる。(登米農業改良普及センター 6月19日付)</p> <p>(石巻) 6月19日現在の生育調査ほの生育状況は、播種・移植の遅いササニシキを除いて、葉数は平年並~やや多く、葉数は平年並~少ない傾向となった。ひとめぼれの葉数は480本/m²前後で、概ね目標有効葉数(480~500本/m²)となった。葉色は、同ササニシキが平年より3.5ポイント低くなったが、その他の調査ほは概ね平年並となった。 (石巻農業改良普及センター 6月22日付)</p> <p>(本吉) 6月20日調査の結果、生育は順調に推移し、平年より7日程度進んでいる。気仙沼市の調査ほ(ひとめぼれ)では、平年と比較して草丈は平年並(平年比102%)、葉数はやや少なく(平年比88%)、葉数は多く(平年差0.9枚)、葉色はやや濃く(平年比106%)となっている。南三陸町の調査ほ(ササニシキ)では、平年と比較して草丈は長く(平年比113%)、葉数は多く(平年比135%)、葉数は多く(平年差1.2枚)、葉色は平年並(平年比103%)となっている。葉数は、目標値(約450本/m²)を確保した。(本吉農業改良普及センター 6月23日付)</p>	<p>7月の葉いもちの発生時期・発生量は平年並、コバネイナゴの侵入盛期は平年並だが発生量はやや多い予報 (宮城県病害虫防除所 6月23日公表)</p>
秋田	(生育)	<p>(鹿角) 好天により生育は順調に進んでいる。葉数では8~9葉が展開中。(6月19日付)</p> <p>(北秋田) 6月10日現在の草丈は24.9cm(平年比97%)、葉数は228本/m²(同比115%)となっており、生育は平年より2日程度早く進んでいる。(6月12日付)</p> <p>(山本) 6月25日現在の生育状況は、草丈37.5cm(平年比101%)、葉数454本/m²(同比116%)、葉数8.7(同差+0.1葉)、葉色43.3(同比98%)で、平年に比べ草丈は平年並、葉数は多め、葉数は平年並、葉色はやや濃め。(6月22日付)</p> <p>(秋田) 大きな病害虫被害も見られず、生育は概ね順調。(6月19日付)</p> <p>(田利) 移植圃場では分けつが順調に発生し、生育は良好。田植時期や地域によって、生育に差がみられる。(6月19日付)</p> <p>(仙北) 6月10日現在、草丈24.1cm(平年比99%)、葉数131本/m²(平年比90%)、葉数5.9葉(平年比+0.1葉)となっている。草丈、葉数は平年並みの生育となっているものの、葉数は平年を下回っている。(6月12日付)</p> <p>(平鹿) 6月25日に行った水稻生育定点調査(あきたこまち11か所)の結果では、草丈が35.5cm(平年比99%)、葉数が435本/m²(118%)、葉数は8.9葉(平年差+0.6葉)、葉色42.3(平年比96%)となっており、生育は平年をやや上回っている。(6月26日付)</p> <p>(雄勝) 6月10日の調査の結果(管内8ヶ所平均)は、草丈24.9cm(平年比102%)、1mあたり葉数136本(同124%)、葉数5.8葉(平年差+0.2葉)となっている。(6月12日付) (秋田県農林政策課)</p>	<p>7月の葉いもちの発生時期は平年並、発生量はやや多いと予報 紋枯病の発生は多く、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報 (秋田県病害虫防除所 6月25日公表)</p>

生育状況等		
山形	<p>(生育) ・6月19日現在、平坦部「はえぬき」の草丈は31.8cm(年比97%)、葉数は471本/m²(年比112%)、葉数は8.0枚(年差+0.4枚)、葉色42.7(年差+2.3)。年と比べて、草丈がやや短く、葉数が多くになっている。葉数はやや多く、葉色は年より濃い旺盛な生育状況となっている。(オールやまがた米づくり日本一運動、県産米ブランド推進課 6月19日付)</p> <p>(庄内) 平坦部の生育は年より進んでいる。つや姫は中干し開始時期に達している。</p> <p>(庄内総合支庁農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(置 戸) 6月19日現在の生育は「草丈、やや短く」、「葉数：並みからやや多い」、「葉数：並みからやや多い」、「葉色：並みから濃い」状況。前年よりほ場間の生育差が大きい。(オールやまがた米づくり日本一運動置戸地域本部 6月22日付)</p> <p>(酒田総合支庁) 6月19日現在の「つや姫」の生育は、葉数が年を上回り過剰傾向のほ場がみられる。生育は、1~2日早い。草丈は年並~短く、葉数は年並~多く(葉数過剰のほ場がみられる)、葉数の展開は1~2日早く、葉色は年並~濃い。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(最 上) 6月19日現在、生育診断圃の生育は平坦部で3日程度進んでいる。中山間部では年並に推移している。いずれの圃場でも草丈が短く、葉数が多い状況。(最上総合支庁 6月23日付)</p> <p>(北村山) 6月19日現在、生育は順調。草丈は年並、葉色はやや濃いところが多くなっている。葉数は年より多く、生育は2日から3日程度進んでいる。葉数は、例年以上に圃場間の差が大きくなっており注意が必要と指導。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(東南村山) 全般的に葉色はやや濃い状況。葉数が過剰にならないよう6月中旬に中干しを始めるよう指導。(村山農業技術普及課 6月24日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生時期及び発生量は年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多い、フタオビコヤガ(第1世代)の発生時期は早く、発生量は年並の予想(山形県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
福島	<p>(生育) ・田植え作業は、初期(5%終了)、盛期(50%終了)が年より1日早く、それぞれ5月8日、5月15日で、終期(95%終了)は年並の5月25日となった。活着は概ね良好で、本田での初期生育は、分けつが発生が年並から多く、主穂出葉が年より早まっている。直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まり、5月下旬でほぼ終了した。出芽と苗立ちは良好。(福島県農林水産部 6月3日付)</p> <p>(会津・喜多方) 天候にも恵まれたため、田植え作業は年より早かった。軟弱苗や高温により、植え痛みや葉先枯れなどの除草剤による葉害が発生したほ場が見られたが、その後、回復している。(福島県喜多方農業普及所ほか 6月5日公表)</p>	<p>・6月のいもち病の発生量は年並、イネドロオウムシとイネミズゾウムシの発生時期は早く発生量はやや少ない、イネヒメハモグリバエの発生量はやや少ないと予想。(福島県病害虫防除所 5月29日公表)</p>
茨城	<p>(水戸市) 6月19日現在、5月1日に移植した「あきたこまち」の出穂期は7月14~15日であり、年より1~2日早い。主穂葉数の展開からみた「コンヒカリ」の生育は年より3日早い。年と比べ草丈は「あきたこまち」でやや短く、「コンヒカリ」で並、葉数は商品種ともやや少なく、葉色は商品種とも並。5月11日に移植した「コンヒカリ」の主穂葉数の展開からみた生育は年より6日早い。年と比べ草丈は並、葉数はやや多く、葉色は並。(6月23日付)</p> <p>(龍ヶ崎市) 6月16日現在、4月27日に移植した「あきたこまち」の幼穂長から予測される出穂期は年より3日程度早く、7月12日頃「コンヒカリ」の主穂葉数の展開からみた生育は年並。年と比べ商品種の草丈は長く長く、葉数は並~やや多く、葉色は並~やや濃い。「あきたこまち」「コンヒカリ」の生育は、主穂葉数の展開からみて、「あきたこまち」で5日程度、「コンヒカリ」で6日程度進んでいる。年と比べ、商品種の草丈は長~極長く、葉数は並~やや多く、葉色は並。(6月22日付)(茨城県農業総合センター農業研究所)</p>	<p>・結葉枯病ウイルスのヒメトビウカの保毒率が高いことから注意喚起(茨城県病害虫防除所 6月18日公表)</p> <p>・関東では結葉枯病の発生が多く、イネミズゾウムシの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p>
栃木	<p>(生育) ・6月8日調査(16か所平均)の結果、早稲栽培のコンヒカリは草丈は長く(年比117%)、葉数は多く(115%)、葉齢は0.3葉多く、葉色は0.2濃い。葉齢から判断して、生育は2日程度進んでいる。生育診断値(葉色×葉数)は年比110%と大きい。(栃木県 6月11日付)</p>	<p>・7月の結葉枯病の発生量は多いと予想(栃木県農業環境指導センター 6月19日公表)</p> <p>・関東では結葉枯病の発生が多く、イネミズゾウムシの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p>
埼玉	<p>(生育) ・6月8日現在、センター内生育相では、早期栽培(5月1日播 コシヒカリ)の苗は充実度の高い良苗が得られ、活着は良好。分けつが発生や葉位の進展が早く推移しており、生育量は年よりかなり多くなっている。早稲栽培(5月20日播 彩のかがやき)の苗は充実度の高い良苗が得られた。活着や生育は概ね順調。県内全般の早期、早稲栽培は概ね年並に移植が行われた。苗の生育は高温のためやや徒長気味で、穂一部に高温障害が見られた。生育はセンター内規模、活着は順調で旺盛な生育である。(埼玉県農業技術研究センター 6月8日現在)</p>	<p>・低温寡少傾向からいもち病の早期発見に努めるよう注意喚起(埼玉県病害虫防除所 6月19日公表)</p> <p>・関東では結葉枯病の発生が多く、イネミズゾウムシの発生がやや多いと予想。南関東では結枯病とニカメイガ、ヒメトビウカの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p>
千葉	<p>(生育) ・6月15日現在、4月中旬以降高温多照傾向のため、生育の進みが非常に早くなっている。「ふさおとめ」「ふさこがね」は、県内の多くの地域で、年より10日程度早く幼穂形成期を迎えている。草丈、葉数、葉色は年並。草丈は年並。草丈は年並の進みは早く、4月20日田植えのほ場で、6月15日に幼穂形成期を迎えている。(千葉県農林水産部 6月17日付)</p>	<p>・関東では結葉枯病の発生が多く、イネミズゾウムシの発生がやや多いと予想。南関東では結枯病とニカメイガ、ヒメトビウカの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p> <p>・向こう1か月間の発生量は、いもち病は年並、結枯病はやや多、イネドロオウムシは年並、イネクワカメムシは多、ヒメトビウカは多、セゾウコウカは年並、コバネイナゴは多の予想(千葉県農林総合研究センター 6月10日公表)</p>
新潟	<p>(生育) ・6月18日現在の生育状況は、コシヒカリ・こしいぶきとも、県平均では指標値に比べ、草丈は「並み」だが、葉数の進みは「やや早い」、葉数は「多い」、葉色は「やや濃い」状況。地域別には、草丈は上越で長く、葉数は新発田、長岡、南魚沼、上越、糸魚川で多く、葉色は新発田、新津、長岡で濃い状況。(新潟県農林水産部 6月19日付)</p> <p>(岩 船) 6月18日現在、生育の進みは緩やかになり、草丈は年並~やや長い程度、葉数は年並(一部多い)、葉数はやや早く、葉色は指標値並。(村上農業普及指導センター 6月18日現在)</p> <p>(新発田) 6月18日現在のコンヒカリは、草丈は37cmで指標比109%(やや長)、葉数は409本/m²で指標比117%(多)、葉数は9.1葉で指標差+0.8葉(多)、葉色は葉緑素計40.7で指標差+3.2(濃)。生育は年比に比べ2~3日程度進んでいる。(新潟県農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(新 津) 6月18日現在、指標値と比べてコンヒカリの生育は、草丈：並、葉数：多、葉齢：並、葉色：並、こしいぶきは、草丈：やや長、葉数：やや多、葉齢：やや早、葉色：濃。出穂は年より2日程度早まる予想。(新潟県農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(三 条) 6月25日現在、早生品種の生育は、年より1日早い予想。コシヒカリの出穂期は、年より1日早いと予想。(三条農業普及指導センター 6月25日付)</p> <p>(新 津) 6月18日現在のこしいぶきの生育状況は、草丈は年並~やや長く、葉数は年並~やや多く、葉数はやや多く、葉色はやや濃い。コンヒカリの生育状況は、草丈はやや短く、葉数は年並~やや多く、葉数は年並、葉色は年並~やや濃い。出穂期は、年より2日早い見込み(5月5日田植え)で、こしいぶきは7月28日、コシヒカリは8月4日と予想。(新潟県農業普及指導センター 6月19日付)</p> <p>(巻) 6月18日現在、草丈は指標比「短」、葉数は指標比「やや早」(2~3日程度)、葉数は指標比「やや多」(ほ場間差大)、葉色は指標比「並」。早生の出穂は年比に比べ2日程度早い見込み。(巻農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(柏 崎) 6月18日現在、平坦地コシヒカリは指標値と比べて、草丈：やや短、葉数：並(一部多)、葉色：並、中山間地コシヒカリも、平坦地並に生育順調。こしいぶきは葉数が多く、過剰生育傾向。(柏崎農業普及指導センター 6月19日付)</p> <p>(長 岡) 6月18日現在、コシヒカリは指標値に比べ草丈は並(102%)、葉数は多く(110%)、葉色は濃く(+2.9 SPAD値)、葉数は多い(+1.1葉)。地域間差、ほ場間差が大きいと思われる。出穂は3日早い予想。(長岡農業普及指導センター 6月19日付)</p> <p>(南魚沼) 6月18日現在の生育状況は、草丈は37cmでやや長く(指標値比105%)、葉数は373本/m²で多く(指標値比134%)、葉色はSPAD値39.1でやや濃く(指標値差+1.1)、葉数は8.3葉で多い(指標値差+0.8)。(南魚沼農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(十日町) 5月25日以前の田植えの生育は、3日程度進んでいる。草丈はやや長い、葉数はやや多い~多い、葉齢はやや早い~早い、葉色は年並~濃い。5月来から6月上旬田植えの生育は順調。草丈、葉数、葉齢、葉色とも年並。一部地区でワキにより生育が遅れているほ場が見られる。(十日町農業普及指導センター 6月18・19日付)</p> <p>(上 越) 6月18日現在のコンヒカリの生育(指標値比)は、草丈：長い(115%)、葉数：多い(141%)、葉数：多い(+1.1葉)、葉色：やや濃い(葉色値+1.3)。「こしいぶき」の生育は、「コンヒカリ」と同様に、葉数多く、葉色もやや濃くなっている。(上越農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(糸魚川) 6月18日現在、年と比べて葉数が多く、5月上旬田植えのほ場では、すでに目標穂数以上の葉数が確保されている。田植え5月9日のコンヒカリは、草丈は年並、葉数は多く、葉数はやや多く、葉色は年並、田植え5月6日のコンヒカリは、草丈はやや短く、葉数は多く、葉数は年並、葉色は濃い。田植え5月4日のこしいぶきは、草丈はやや長く、葉数は年並、葉数は多く、葉色は年並。(糸魚川農業普及指導センター 6月19日付)</p> <p>(魚 沼) 移植後の好天により、初期生育は順調。(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月10日付)</p>	<p>・6月下旬の病害虫発生予察調査では、カメムシの発生が多く(三条農業普及指導センター 6月25日付)</p> <p>・6月の葉いもちの発生量は年並、発生時期は年並~やや遅い、ニカメイチュウの発生量は年並、発生時期は早い、ツマグロヨコバイの発生量は年並、イネドロオウムシの発生量は年並で時期は年並、イネミズゾウムシの発生量は年並、発生時期はやや早いと予想(新潟県病害虫防除所 5月29日公表)</p>

生育状況等		
富山	<p>・生育観測ほデータ(6月23日現在) (コシヒカリ) 平年に比べて葉齢がやや進んでおり、草丈はやや長く、莖数はやや多く、葉色は平年並。幼穂形成期は、平年より2日程度早く7月11日頃と見込まれる。 (てんたかく) 平年に比べて葉齢が進んでおり、草丈は長く、莖数はやや多く、葉色は平年並。幼穂形成期は、平年より3日程度早く6月28日頃と見込まれる。 (てんこもり) 平年に比べて葉齢がやや進んでおり、草丈は平年並、莖数はやや少なく、葉色はやや淡い。幼穂形成期は、平年より3日程度早く7月14日頃と見込まれる。 (富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月23日付)</p> <p>(生育) 直播情報(6月18日現在) 湛水土中直播栽培(カルパ)の生育は、平年に比べて草丈は長く、莖数はかなり多く、葉色は並。葉齢は平年より0.7葉程度進んでおり、平年に比べ3日程度早まっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、莖数は多く推移している。 乾田V直播栽培の生育は、草丈は35.3cm、莖数は482本/m²、葉齢は8.4葉、葉色は4.4であった。昨年比べて草丈、葉齢、葉色は同程度で、莖数はかなり多くなっている。 (富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月18日付)</p>	<p>・斑点米カメムシ類の生息数が多く、斑点米被害の増加が懸念される(富山県農林水産総合技術センター 6月24日公表)</p>
石川	<p>(生育) 6月23日現在、中能登以南の平坦地のゆめみづほで幼穂が確認されており、出穂は加賀地域で7月14~20日頃(近年比:1~3日程度早い)、能登地域(羽昨~中能登)では7月20~23日頃(近年比2~3日程度早い)と、いずれの地域も概ね前年並の出穂と予想される。 葉齢は、コシヒカリは10.2葉(平年比+0.3葉)で平年に比べ生育は2~3日早く、ゆめみづほは10.8葉(近年比+0.3葉)で近年に比べ生育は2日程度早い。 草丈は、コシヒカリは平年比105%(加賀地域103%、能登地域108%)とやや長く、ゆめみづほは近年比109%(加賀地域107%、能登地域114%)とやや長い。葉齢の展開状況から生育の遅速を勘案すると、いずれの品種も草丈は平年並、ゆめみづほは、いずれの品種も最高分けつ期に達している開播が見られ、葉数の増加は緩やかとなっており、コシヒカリは平年比99%(加賀地域97%、能登地域100%)と平年並、ゆめみづほは、近年比102%(加賀地域101%、能登地域103%)と近年並となっている。 (石川県農林総合研究センター 6月23日調査)</p>	<p>・6月下旬~7月上旬のいもちの発生量はやや少、紋枯病の発生は平年並、斑点米カメムシ類の発生はやや多と予報(石川県農林総合研究センター 6月18日公表)</p>
福井	<p>(生育) 6月18日の水稲調査の結果は、コシヒカリは移植で平年並みの生育。直播は草丈は平年並み、莖数は平年より多い傾向。ハナエチゼンは草丈は長めだが、莖数はほぼ平年並み。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月19日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年より少なく前年並、紋枯病の発生量は平年並で前年より多い、ニカメイガの発生量は平年より少なく前年並、イネミズゾウムシの発生量は平年より少なく前年より多い、イネゾウムシの発生量は平年より少なく前年よりやや多い、イネドロオウムシの発生量は平年より少なく前年並、イネヒメハモグリバエの発生量は平年より少なく前年並の予報(福井県農業試験場 5月28日公表)</p>
長野	<p>(生育) 6月15日現在、豊科定点圃場では、草丈は平年よりやや長く、莖数は平年より多い傾向。5月上旬~中旬までの移植では、高着~初期生育は良好で、5月上旬に移植された水田では、過剰分けつ気味の水田もある。 早生種(あきたこまち等)の出穂は平年より2日程度早く、コシヒカリの出穂は平年並みかやや早いと予想される。平坦地で「あきたこまち」を6月上旬に移植したほ場では、6月下旬より幼穂形成期を迎えることが予想される。 高温によるガスわきで、根の腐みから葉が黄化しているほ場も見られる。 (松本農業改良普及センター 平成27年作物技術普及情報第9号)</p>	<p>・6月中旬~7月中旬の葉いもちの発生量は平年並、ニカメイガの発生量はやや少、ヒメトビウンカの発生量は平年並、イネゴの発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量はやや少と予報(長野県病害虫防除所 6月15日公表)</p>
滋賀	<p>(生育) 生育は全般にかなり旺盛だが、移植日やほ場条件により差は大きい。生育の遅速は平年並で、「コシヒカリ」では、5月10日移植の幼穂形成期は、7月4日頃と予測される。 6月19日現在、初期生育は順調で分けつ増加速度はかなり早かったが、6月に入ると低温傾向となり、生育速度は鈍化している。 草丈は「コシヒカリ」が平年並、「秋の詩」が平年よりやや短かった。 莖数は、「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平年より1~2割多い。 葉色は「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平年並であった。 葉数は「コシヒカリ」が平年並、「秋の詩」が平年より0.2枚少なかった。 (みずかみ) 4月下旬移植は、すでに幼穂形成期を迎えている(6月21日前後)。 5月上旬移植は、幼穂形成期は6月26日前後(23~28日)になると予想される。 5月中旬以降移植は、幼穂形成期は6月末以降になると予想される。 (滋賀県農業技術振興センター 6月26日付)</p>	<p>・7月の葉いもちの発生時期・量は平年並、紋枯病の発生時期は平年並、発生量はやや多、コバネイナゴの発生時期はやや早く発生量はやや少、イネコロカメムシの発生量はやや少の予報(滋賀県病害虫防除所 6月23日公表)</p> <p>・近畿ではいもち病、イネミズゾウムシ、ヒメトビウンカの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p>
兵庫	<p>(生育) 5月26日現在、県北は本田での生育は順調、県南では苗の生育が順調。 (兵庫県農政環境部 5月28日付)</p>	<p>・向こう1か月間の発生量は、いもち病(葉いもち)は平年並、ヒメトビウンカ(繭葉枯病)はやや多い、セジロウンカ及びトビイロウンカは平年並の予報(兵庫県病害虫防除所 6月8日公表)</p>
岡山		<p>・中国地方ではいもち病、繭葉枯病、ニカメイガ、ヒメトビウンカの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p> <p>・6月の葉いもちの発生時期及び発生量は平年並、ヒメトビウンカの発生量はやや少く、繭葉枯病の発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量は少ない、ニカメイガの発生量は平年並と予報(岡山県 6月1日公表)</p>
広島		<p>・中国地方ではいもち病、繭葉枯病、ニカメイガ、ヒメトビウンカの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p>
山口	<p>(生育) コシヒカリ、ひとめづめの莖数は、過去平均に比べて2~3割多く、草丈はやや長い状況で、やや軟弱な生育のところが見られる。きぬむすめ、ヒノヒカリは、活着は全体に良好で、おおむね平年並みの状況。葉齢の進み具合は、平年並~やや早い状況 (長門農林事務所農業部、JA長門大津、6月22日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年並、セジロウンカはやや少(山口県病害虫防除所 6月17日公表)</p> <p>・中国地方ではいもち病、繭葉枯病、ニカメイガ、ヒメトビウンカの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p>
愛媛	<p>(田植) 6月は普通期水稲の田植え時期。高温発熱障害を回避するための平坦地における移植適期は、ヒノヒカリが6月中下旬、にこまるは6月中旬。(愛媛県農林水産研究所 6月3日公表)</p>	<p>・四国ではいもち病、繭葉枯病の発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p> <p>・6月のいもち病、ヒメトビウンカの発生量は平年並と予報(愛媛県病害虫防除所 5月28日公表)</p>
高知	<p>(生育) 早期水稲の生育状況(5月29日時点) (南国そだち) 4月6日植えでは、草丈は平年より長く、莖数がやや少なく、葉齢(以下生育進度)は平年並み。幼穂形成期は5月26日で、平年より3日早くなった。 (コシヒカリ) 4月6日植えでは、草丈は平年より長く、莖数がやや少なく、生育進度はやや遅れている。4月14日植えでは、草丈は平年より長く、莖数がやや少なく、生育進度はやや進んでいる。 (高知県農業技術センター) 幅多管内の5月の早期稲(コシヒカリ)は最高分けつ期から分けつ終期となっている。4月下旬以降、気温・日照時間とも平年よりやや高めに推移して、若干遅れ気味であった生育も平年並みとなっている。 普通期稲は、主力となるヒノヒカリの田植えが始まった。苗の生育は概ね順調であった。 (幅多農業振興センター農業改良普及課 5月28日付)</p>	<p>・四国ではいもち病、繭葉枯病の発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p> <p>・6月のいもち病は県下全域で発生時期及び発生量は平年並、セジロウンカは東部・中央部・中西部では発生時期及び発生量は平年並、西部では発生時期は早く発生量は多いと予報。ツマグロヨコバイとヒメトビウンカは県下全域で発生時期は平年並で発生量は少ないと予報(高知県病害虫防除所 6月3日公表)</p>
福岡	<p>(生育) 早期水稲(コシヒカリ、夢つくし)の田植えは平年並で、5月11日までにほぼ終了している。初期生育は順調だが、一部スクミリンゴガイによる被害が発生している。 普通期水稲は6月上中旬植えの育苗作業が行われ、生育は順調。高温対策のため、田植えは「夢つくし」を6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる予定。 (福岡県農林業総合試験場 5月15日付)</p>	<p>・九州ではイネミズゾウムシの発生が、北九州ではいもち病の発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p>

生育状況等	
熊本	<ul style="list-style-type: none"> 九州ではイネミズゾウムシの発生がやや多いと予想 (農林水産省 6月23日付) 6月の早期・早植水稻の葉いもちの発生量は平年並の予想 (6月1日公表) 5月下旬調査の結果、ヒメトビウンカのイネ緑葉枯ウイルス保毒虫率は、本年は平年より低く、年々低くなっている。(6月3日公表) (熊本県病害虫防除所)
宮崎	<ul style="list-style-type: none"> 5月中旬の早期水稻の生育ステージは分けつ期。生育は春先の高温の影響で平年より3日程早い。 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月3日付) 平成27年産早期米生育状況(4月下旬) 早期米の生育状況は、活着期～分けつ期を迎えている。育苗については2月上旬は平年に比べ気温が低く推移し、発芽等心配されたが、2月下旬より気温がやや高く推移したため、播種最盛期は平年並みに回復し、しっかりとした健苗の育成ができた。田植えについては、宮崎県では3月25日に最盛期を迎えた。3月下旬は気温も高くなり、安定した好天に恵まれ、田植えは平年並みの時期に行われた。田植え後の4月上旬は、天候が悪く、やや軟弱徒長気味の生育のものもあったが、強風等の被害はなく、概ね順調に生育している。葉齢は平年並み、草丈は平年より長く、茎数は平年より多くなっており、生育は平年並みからやや早い状況。(5月12日付) 早期水稻 4月20日現在の生育ステージ (県全体) 活着期～分けつ前期。平年よりやや早い進度。4月上旬の日照不足により、やや軟弱徒長気味の生育となっているものが一部見られたものの、強風等の被害はなく概ね順調に生育している。 (中部地区) 活着期～分けつ前期。平年より1日早い進度。育苗期間中は、2月上旬気温が低い日が続き発芽等心配されたが、2月下旬はやや気温が高く推移し、健苗が育成された。移植後は、日照不足の影響により、一部でやや軟弱徒長気味となっているが、概ね順調に生育している。4月14日の調査では、草丈は平年より高く、茎数も平年よりやや多く、葉齢は平年より0.2葉程度進んでいる。 (南那珂地区) 分けつ前期で、平年より3日程早い進度。移植後の天候に恵まれ、活着は順調。4月上旬の高温・寡照で一部、軟弱徒長気味の生育となっている。気温が高かったことで、概ね順調に生育している。葉齢は平年より1.3葉程度進んでいる。 (児湯地区) 活着期～分けつ前期で、平年より1日早い進度。移植最盛期はほぼ平年並みの3月27日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味ではあるが、平年より気温が高く、生育はやや進んでいる状況。 (東臼杵南部地区) 活着期で、平年並みの進度。田植え最盛期は平年並みの4月5日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味だが、平年より気温が高く、生育は順調に進んでいる状況。 (JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県早期米産地情報」5月12日付)
鹿児島	<ul style="list-style-type: none"> 九州ではイネミズゾウムシの発生がやや多いと予想 (農林水産省 6月23日付) 早期水稻の斑点米カメムシ類の発生量は平年並の予想 (鹿児島県病害虫防除所 6月4日公表)

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、状況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標				収穫量（主食用） 26年産	作況指数 26年産
		参考		増減率	自主的取組参考値（深堀）		
		平成27年産	前年産との比較				
全 国	<p>・6月27日～7月26日の1か月間は、東日本では気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。西日本でも気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。（気象庁 6月25日発表）</p> <p>・西日本では、九州南部、九州北部地方と四国地方を中心に、6月初めから降水量が多く、日照時間の少ない状態が続いており、この状態は今後2週間程度は続く見込み。（気象庁 6月22日発表）</p> <p>（7～9月の3か月間の見直し）</p> <p>・気温は、北・東・西日本では、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、北日本ではほぼ平年並、東・西日本では平年並か多い見込み。（気象庁 6月24日発表）</p> <p>・エルニーニョ現象が続いており、強まりつつある。今後、冬にかけてエルニーニョ現象が続く可能性が高い。（気象庁 6月10日公表）</p>	7,510,000	▲ 140,000	▲ 1.8	7,390,000	7,882,000	101
北 海 道	<p>・北海道地方の6月27日～7月26日の1か月間は、気温はほぼ平年並、降水量・日照時間も、ほぼ平年並の見込み（札幌管区気象台 6月25日発表）</p>	547,330	▲ 6,810	▲ 1.2	538,580	597,200	107
青 森	<p>・東北地方の6月27日～7月26日の1か月間の気温はほぼ平年並で、1週目は平年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（仙台管区気象台 6月25日発表）</p>	242,460	▲ 4,540	▲ 1.8	238,580	257,400	104
岩 手	<p>同上（仙台管区気象台 6月25日発表）</p>	271,210	▲ 4,330	▲ 1.6	266,880	287,700	105
宮 城	<p>同上（仙台管区気象台 6月25日発表）</p> <p>・東北南部は6月26日ごろに梅雨入りしたと見らる（平年より2週間遅れ）（気象庁 6月26日発表）</p>	348,620	▲ 14,010	▲ 3.9	343,050	379,600	105
秋 田	<p>同上（仙台管区気象台 6月25日発表）</p> <p>・東北南部は6月26日ごろに梅雨入りしたと見らる（平年より2週間遅れ）（気象庁 6月26日発表）</p>	417,540	▲ 15,500	▲ 3.6	410,860	453,000	104
山 形	<p>同上（仙台管区気象台 6月25日発表）</p> <p>・東北南部は6月26日ごろに梅雨入りしたと見らる（平年より2週間遅れ）（気象庁 6月26日発表）</p>	344,500	▲ 14,070	▲ 3.9	338,990	380,700	105
福 島	<p>同上（仙台管区気象台 6月25日発表）</p> <p>・東北南部は6月26日ごろに梅雨入りしたと見らる（平年より2週間遅れ）（気象庁 6月26日発表）</p>	339,550	▲ 8,870	▲ 2.5	334,130	350,600	104
茨 城	<p>・関東甲信地方の6月27日～7月26日の平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。（気象庁 6月25日発表）</p>	337,370	▲ 4,180	▲ 1.2	331,980	396,200	105
栃 木	<p>同上（気象庁 6月25日発表）</p>	298,690	▲ 10,640	▲ 3.4	293,920	313,700	100
埼 玉	<p>同上（気象庁 6月25日発表）</p>	151,270	▲ 1,410	▲ 0.9	148,850	169,800	102
千 葉	<p>同上（気象庁 6月25日発表）</p>	246,490	▲ 2,790	▲ 1.1	242,550	325,300	104
新 潟	<p>・北陸地方の6月27日～7月26日の平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。（新潟地方気象台 6月25日発表）</p>	521,290	▲ 14,350	▲ 2.7	512,960	576,000	101
富 山	<p>同上（新潟地方気象台 6月25日発表）</p>	185,650	▲ 6,690	▲ 3.5	182,680	193,100	101
石 川	<p>同上（新潟地方気象台 6月25日発表）</p>	123,630	▲ 2,770	▲ 2.2	121,650	123,400	98
福 井	<p>同上（新潟地方気象台 6月25日発表）</p>	125,460	▲ 2,670	▲ 2.1	123,460	126,000	98
長 野	<p>・関東甲信地方の6月27日～7月26日の平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。（気象庁 6月25日発表）</p>	194,000	▲ 2,640	▲ 1.3	190,900	195,800	96

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t		%	t		
滋 賀	・近畿地方の6月27日～7月26日の平均気温はほぼ平常、2項目は平常並か低い見込み。 降水量・日照時間は平常並か少ない見込み。 （大阪管区気象台 6月25日発表）	160,450	▲ 2,930	▲ 1.8	157,880	157,100	97
兵 庫	同上（大阪管区気象台 6月25日発表）	180,440	▲ 1,490	▲ 0.8	177,560	177,800	97
岡 山	・中国地方の6月27日～7月26日の平均気温は1項目は平常並、2項目は平常並か低い見込み。 降水量は平常並か多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 （広島地方気象台 6月25日発表）	158,550	▲ 1,640	▲ 1.0	156,020	153,300	94
広 島	同上（広島地方気象台 6月25日発表）	129,970	▲ 160	▲ 0.1	127,890	123,300	95
山 口	・九州北部地方（山口県含む）の6月27日～7月26日の平均気温はほぼ平常並、 平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は平常並か多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 （福岡管区気象台 6月25日発表）	108,760	▲ 2,060	▲ 1.9	107,020	103,800	96
愛 媛	・四国地方の6月27日～7月26日の平均気温はほぼ平常並、降水量は平常並か多く、 日照時間は平常並か少ない見込み。 （高松地方気象台 6月25日発表）	73,920	▲ 570	▲ 0.8	72,740	73,000	98
高 知	同上（高松地方気象台 6月25日発表）	50,070	20	0.0	49,270	55,600	95
福 岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月27日～7月26日の平均気温はほぼ平常並、 平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は平常並か多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 （福岡管区気象台 6月25日発表）	182,470	▲ 1,910	▲ 1.0	179,550	176,400	96
熊 本	同上（福岡管区気象台 6月25日発表）	189,310	▲ 610	▲ 0.3	186,290	180,500	97
宮 崎	・九州南部地方の6月27日～7月26日の平均気温は平常並か低い見込み。 降水量は平常並か多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 6月25日発表）	93,600	▲ 870	▲ 0.9	92,100	84,600	98
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 6月25日発表）	111,070	▲ 470	▲ 0.4	109,290	102,300	95

参考資料:

[平成27年産米の都道府県別の生産数量目標について\(農林水産省\)](#)

[平成26年産水陸稲の収穫量\(農林水産省\)](#)

[平成27年度病害虫発生予報第3号\(農林水産省\)](#)

[農作物の生育状況 6月15日現在\(北海道 6月19日\)](#)、[農作物生育状況 6月15日現在\(北海道空知総合振興局 6月19日\)](#)、[農作物の生育状況 6月15日現在\(北海道石狩振興局 6月19日\)](#)、[農作物の生育状況 6月15日現在\(北海道後志総合振興局 6月19日\)](#)、[農作物の生育状況 6月15日現在\(北海道胆振総合振興局 6月19日\)](#)、[農作物の生育状況 6月15日現在\(北海道日高振興局 6月19日\)](#)、[農作物の生育状況 6月15日現在\(北海道渡島総合振興局 6月19日\)](#)、[農作物の生育状況 6月15日現在\(北海道釧路振興局 6月19日\)](#)、[農作物の生育状況 6月15日現在\(北海道上川総合振興局 6月19日\)](#)、[農作物生育状況調査の概要 6月15日現在\(北海道留萌振興局 6月19日\)](#)、[農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在\(北海道オホーツク総合振興局 6月19日\)](#)、[平成27年度定期作況報告\(北海道道南農業試験場 5月20日\)](#)、[病害虫発生予察情報第4号6月予報\(北海道病害虫防除所 5月28日\)](#)、[稲作生産情報第4号\(青森県 6月24日\)](#)、[作況調査報告\(6月20日現在\)\(青森県産業技術センター農林総合研究所\)](#)、[平成27年度病害虫発生予報第3号\(6月予報\)\(青森県病害虫防除所 5月29日\)](#)、[平成27年度水稲の生育状況\(6月15日調査速報\)〈岩手県中央農業改良普及センター県域普及グループ 6月16日〉](#)、[平成27年度水稲生育定期調査結果 No.2\(6月15日現在\)\(岩手県農業研究センター 6月17日\)](#)、[平成27年度病害虫発生予察情報発生予報第3号\(岩手県病害虫防除所 5月29日\)](#)、[平成27年産水稲の生育状況について\(6月19日現在\)\(宮城県農林水産部 6月22日\)](#)、[平成27年産仙南稲作情報\(第3号\)\(宮城県大河原農業改良普及センター 6月19日\)](#)、[仙台稲作情報第3号\(仙台農業改良普及センター 6月17日\)](#)、[平成27年産産稲作技術情報第5号\(宮城県大崎農業改良普及センター 6月19日\)](#)、[平成27年産美里地区の稲作情報第3号\(宮城県美里農業改良普及センター 6月12日\)](#)、[栗原の稲作通信平成27年第3号\(栗原農業改良普及センター 6月23日\)](#)、[登米地域の稲作通信第4号\(登米農業改良普及センター 6月19日\)](#)、[稲作情報Vol.3\(石巻農業改良普及センター 6月22日付\)](#)、[稲作情報Vol.5\(本吉農業改良普及センター 6月23日\)](#)、[平成27年度発生予察情報発生予報第5号-水稲-\(宮城県病害虫防除所 6月23日\)](#)、[生育状況の情報\(秋田県ホームページにまちチャンネル\)http://www.e-komachi.jp/ 6月26日](#)、[平成27年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号\(7月予報\)\(秋田県病害虫防除所 6月25日\)](#)、[米づくり技術情報NO.3\(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月19日\)](#)、[おいしい米づくり情報第6号\(村山農業技術普及課 6月24日\)](#)、[おきたま米づくり情報No.5\(置賜総合支庁農業技術普及課西置賜農業技術普及課 6月22日\)](#)、[酒田飽海つや姫情報第4号\(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月22日\)](#)、[つや姫情報第2号\(最上総合支庁 6月23日\)](#)、[平成27年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号\(6月\)\(山形県病害虫防除所 5月27日\)](#)、[主要な農作物の生育情報平成27年度第3号\(福島県農林水産部 6月3日\)](#)、[稲作情平成27年度第3号\(福島県喜多方農業普及所ほか\) 6月5日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第2号\(5月\)\(福島県病害虫防除所 5月29日\)](#)、[農研速報\(水稲の生育状況\)\(6月19日現在、水戸市\)\(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月23日\)](#)、[農研速報\(水稲の生育状況\)\(6月16日現在、龍ヶ崎市\)\(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月22日\)](#)、[病害虫速報No.3\(茨城県病害虫防除所 6月18日\)](#)、[平成27年度水稲生育診断予測事業速報No.2\(栃木県 6月11日\)](#)、[平成27年度病害虫発生予報第3号\(栃木県農業環境指導センター 6月19日\)](#)、[下部賀管内水稲技術資料No.3\(下部賀農業振興事務所 6月4日\)](#)、[平成27年度スポット情報\(埼玉県ホームページ 4月27日\)](#)、[平成27年度水稲の生育概況vol.1\(埼玉県 6月11日\)](#)、[病害虫防除情報\(埼玉県病害虫防除所 6月25日\)](#)、[水稲の生育状況と当面の対策第2報\(千葉県農林水産部 6月17日\)](#)、[平成27年度病害虫発生予報第3号\(千葉県病害虫防除所 6月10日\)](#)、[水稲の生育状況と今後の管理対策第3号\(新潟県農林水産部 6月19日\)](#)、[岩船米生育速報\(6月18日現在\)\(村上農業普及指導センター\)](#)、[新発田地域水稲育成速報No.3\(新発田農業普及指導センター 6月18日\)](#)、[新潟稲作速報No.3\(新潟農業普及指導センター 6月18日\)](#)、[平成27年度定期稲作技術情報No.4\(三条農業普及指導センター 6月25日\)](#)、[水稲生育速報No.3\(新潟農業普及指導センター 6月19日\)](#)、[水稲生育速報\(養農業普及指導センター 6月18日\)](#)、[稲作管理情報3\(柏崎農業普及指導センター 6月19日\)](#)、[稲作情報No.4\(長岡農業普及指導センター 6月19日\)](#)、[水稲生育速報\(長岡農業普及指導センター 6月19日\)](#)、[南魚沼地域水稲生育速報\(南魚沼農業普及指導センター 6月18日付\)](#)、[6/18稲作生育速報\(十日町地域\)\(十日町農業普及指導センター\)](#)、[水稲生育速報\(6月18日\)\(上越農業普及指導センター\)](#)、[平成27年度糸魚川売れる米づくり水稲生育情報No.3\(糸魚川農業普及指導センター 6月19日\)](#)、[稲作情報\(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月10日付\)](#)、[平成27年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号\(6月の発生予想\)\(新潟県病害虫防除所 5月29日\)](#)、[TACS情報第5号\(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月23日\)](#)、[直播情報第3号\(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月18日\)](#)、[病害虫発生注意報第1号\(富山県農林水産総合技術センター 6月24日\)](#)、[平成27年産水稲の生育状況と今後の対策\(水稲生育診断技術確立調査-5号\)\(石川県農林総合研究センター 6月23日調査\)](#)、[病害虫発生予報第3号\(石川県農林総合研究センター 6月18日\)](#)、[稲作情報No.7\(福井県水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月19日\)](#)、[平成27年農作物病害虫発生予察予報第4号\(福井県農業試験場 5月28日\)](#)、[平成27年度作物技術普及情報第9号\(長野県松本農業改良普及センター\)](#)、[病害虫発生予報第3号\(長野県病害虫防除所 6月15日\)](#)、[平成27年度水稲生育診断情報No.2\(滋賀県農業技術振興センター 6月26日\)](#)、[平成27年病害虫発生予報第5号\(滋賀県病害虫防除所 6月23日\)](#)、[平成27年度病害虫発生予察予報第2号\(兵庫県病害虫防除所 6月8日\)](#)、[平成27年度兵庫県農業気象技術情報第2号\(6月情報\)について\(兵庫県農政環境部 5月28日\)](#)、[平成27年度病害虫発生予報第3号\(岡山県病害虫防除所 6月2日\)](#)、[稲作ポイントアドバイス\(No.3\) \(JA 長門大津・長門農林事務所 6月22日\)](#)、[6月の病害虫発生予報\(平成27年6月16日現在\)\(山口県病害虫防除所 6月17日\)](#)、[気象情報に基づく技術対策・作物\(愛媛県農林水産研究所 6月3日\)](#)、[病害虫発生予報\(6月\)\(愛媛県病害虫防除所 5月28日\)](#)、[平成27年度における早期水稲の生育状況\(5月29日時点\)\(高知県農業技術センター\)](#)、[平成27年度水稲の生育状況\(幡多農業振興センター 5月28日\)](#)、[平成27年度病害虫発生予察予報第2号\(5月\)](#)、[平成27年度病害虫発生予察予報第3号\(6月\)](#)、[\(高知県病害虫防除所\)](#)、[福岡県の主な農作物の生産状況\(福岡県農林業総合試験場 5月15日\)](#)、[平成27年度病害虫発生予報第3号\(6月予報\)](#)、[\(熊本県病害虫防除所 6月1日\)](#)、[平成27年産宮崎県早期米産地情報\(平成27年4月20日現在\)](#)、[平成27年産早期米生育状況\(宮崎経済連ホームページ\)http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 5月12日\)](#)、[平成27年度病害虫発生予察注意報第2号\(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月18日\)](#)、[平成27年度技術情報第5号\(鹿児島県病害虫防除所 6月4日\)](#)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区气象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(仙台管区气象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(新潟地方气象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(大阪管区气象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(広島地方气象台)、四国地方方向こう1か月の天候の見通し(高松地方气象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気